

第 7 章

地域別構想

第 1 節 市街地地域	1
第 2 節 南部地域	5
第 3 節 天橋立周辺地域	8
第 4 節 IC 周辺地域	11
第 5 節 北部地域	13
第 6 節 東部地域	16
第 7 節 沿岸地域	19

第7章 地域別構想

第1節 市街地地域

(1) まちづくりの基本的な考え方

① 城下町・港町文化を活かした交流拠点の形成

交流文化のまちづくり強化に向け、城下町・港町としての歴史的背景と文化を持つ市街地地域の魅力を強化し「まちなか観光」ともいえる交流活動を積極的に展開していきます。

「まちなか観光」を中心とする交流活動の展開は、市街地の商業活動を活性化させるばかりではなく、「観光商業」ともいえる新しい商業活動を創出し、関連する産業（農水産物加工業や土産物製造業等の特産品製造業など）等の発展をもたらすと考えられます。

② 丹後地域の広域的な拠点地区としての機能の強化

「まちなか観光」の展開に対応して、丹後地域における広域観光拠点としての機能の強化を図るとともに、訪問客も利用する高次の都市的サービス機能の強化を図り、丹後地域の拠点地区としての機能を強化します。

③ まちなか居住を進める、まちなかの暮らしの魅力向上

本地域には、全人口の半数近くが居住する、丹後地域内でも最も人口集積の高い地区であるが、近年、まちなかの空洞化が進んでいます。

本地域が、丹後地域の広域的な拠点として、各種の高次都市機能サービスを提供していくためには、それを支える一定の人口集積が必要であり、まちなかへの人口定着が大きな課題となっています。

この課題に対応していくためには、若年層の地域定着を目指した、住宅供給や、住環境の向上、各種生活サービスの向上に向けた取り組みを推進していく必要があります。

(2) 主要な課題

① 宮津港の活用と環境整備による魅力の向上

本地域は、旧城下町と港町が重複する地域であり、海際の良好で魅力的な環境を持ち、交流文化のまちとしての発展の鍵を握るきわめて重要な地域です。

地域全体の活性化に向けた起爆剤となるよう、島崎ウォーターフロントの民間資本等の導入に向けた再開発が求められています。

② 「まちなか観光」の環境整備

重要文化的景観の取組に関連して、歴史的建造物の保存・修復等を推進していく必要があります。

また、「まちなか環境整備」に関連して、歩いて楽しい道づくりを進めていくことも必要です。

③ 広域中心都市核としての機能の強化

宮津まちなか地域振興拠点施設を核とし、市内で生産した農林水産物、農林水産加工品等の販売と、地元の食材や食文化を活用した飲食サービスの提供を通じて、来訪者をまちなかへ回遊させ、まちなか全体に活気を与えることが重要です。

④ まちなか居住を促進する住環境整備の促進

人口集中地区としての市街地地域への人口定着に向けては、既存住民に対する生活支援サービスの維持のほか、若年層を対象とした住宅供給、ゆとりある生活を実現する住環境の向上に向けた取り組みが必要であります。

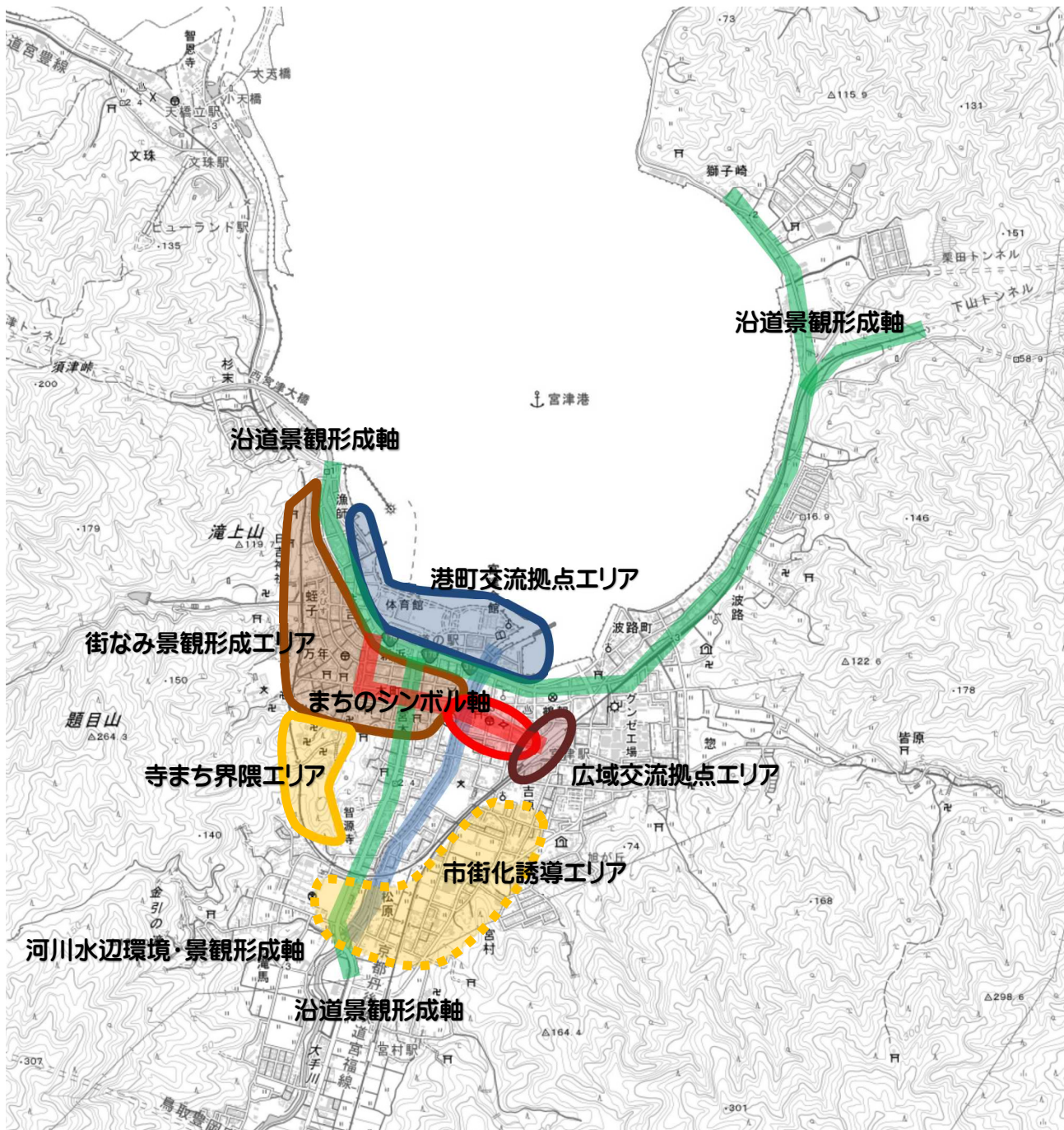
また、「まちなか観光」と連動し、新たな雇用、新産業の創出の場を生み出していくなど、産業振興との連携による展開を進めていく必要があります。

(3) まちづくりの方向性

“城下町・港まち交流文化都市としての魅力の向上”

広域交流拠点エリア	京都丹後鉄道宮津駅周辺については、宮津観光はもとより、丹後観光の出発点として、各種交流機能の充実を図ります。
港町交流拠点エリア	- 島崎エリアについては、市街地の賑わいづくりの拠点であり、大型商業施設、道の駅や、宿泊・飲食施設等が立ち並ぶ古くからの商業地エリアにも近接しており、周辺地域にも賑わいを広げる上で非常に重要なエリアです。市の公共・遊休施設等について民間資本等の導入による一体的な活用・活性化を進めることにより、ウォーターフロントエリアの活性化を目指します。 - 地域間、地域内の交流の円滑化を図るため、街路空間整備と沿道景観形成を進めます。また、商店が集積した市街地については、街路の美装化やまちなみの景観形成の検討を進めます。
街なみ景観形成エリア	- 古い街なみのある地区では、昔の面影を残す街なみの保全、修景を進め、街なみ散策型観光を誘導する景観形成を進めます。 - 空き家や空地を活用して、回遊性のある市街地を形成します。
寺まち界隈エリア	寺社仏閣が多数立地する寺まち界隈エリアについては、まちの文化を楽しめるしかけづくりを行います。
市街化誘導エリア	市街地需要の受け皿として、計画的な市街化誘導を進めます。
まちのシンボル軸	京都丹後鉄道宮津駅から市街地へ向かう本町宮津停車場線をまちのシンボル軸として、歩いて楽しい道づくりを進めます。
沿道景観形成軸	幹線道路の緑化、沿道の景観形成などにより港町としてのイメージの形成を図ります。
河川水辺環境・ 景観形成軸	大手川の自然景観の保全や、水と緑あふれる河川空間を形成します。

(4) 市街地地域構想図



第2節 南部地域

(1) まちづくりの基本的な考え方

① 豊かな環境の森林・田園地帯の形成

大江山連峰や杉山山系の森林地帯やその間に展開する農業地帯を活かして、豊かな環境の森林・田園地帯の形成を図ります。

② 魅力的な多自然居住地域の形成

市街地地域に隣接して展開する自然的・田園的環境の豊かな地区としての特性を活かして魅力的な多自然居住地域の形成を図ります。

(2) 主要な課題

① 緑豊かな田園・山林環境の保全・活用

林業や農業基盤の保全・整備を図りつつ、活性化のための振興策の展開を図る必要があります。

大江山の貴重な自然を保全するため、福知山市の二瀬川溪流、与謝野町の鬼の岩屋等との連携などにより、近畿自然歩道を軸とした自然を保全活用する整備を進める必要があります。

また、豊かな環境を活用して、森林活用型・田園環境活用型のレクリエーションの場としての機能の強化を図る必要があります。

② 生活環境の整備・充実

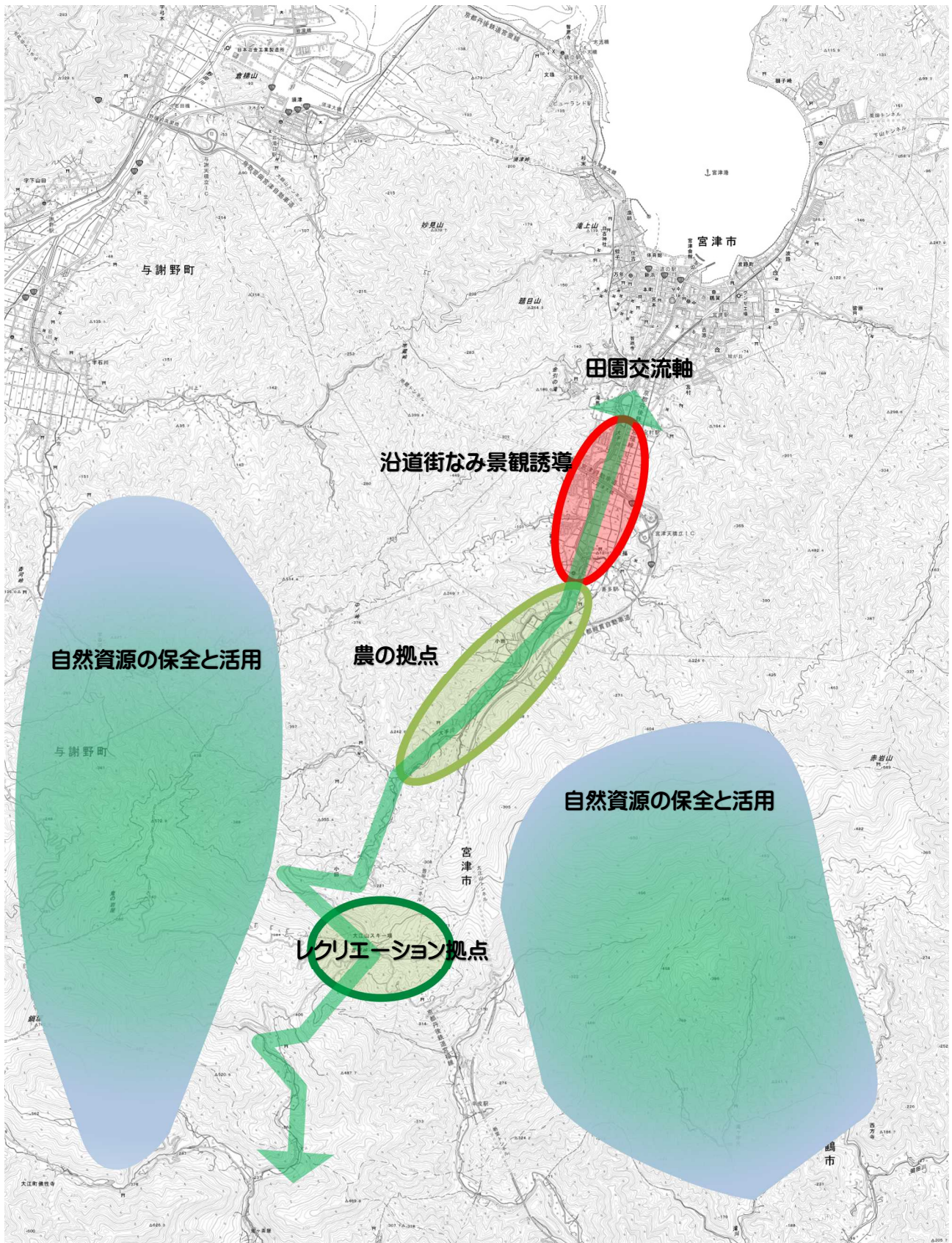
多自然居住地としての居住環境を整えるため、生活環境の整備・充実を図る必要があります。

(3) まちづくりの方向性

“里の文化があふれる緑住環境の充実”

自然資源の保全と活用	・ 大江山をはじめとする周辺の森林の保全と、リフレッシュ、レクリエーションの場として、自然公園としての活用を図ります。 ・ また、身近な里山については、自然環境学習機能もあわせもったレクリエーションの場としての活用を図ります。
農の拠点	・ 農業の高付加価値化に向けて、農産加工品の製造拠点地域の形成を図ります。 ・ 体験型農業の展開など、第1次産業・第2次産業・第3次産業が連携する「6次産業」化に向けた取組みを支援します。
ゲートウェイとしての沿道のまちなみ景観誘導	・ 幹線道路の整備により、周囲の環境やまちのイメージに沿った景観誘導を進めます。

(4) 南部地域構想図



第3節 天橋立周辺地区

(1) まちづくりの基本的な考え方

① 観光街区としての街なみや機能の魅力化

文珠地区は、天橋立観光の中心的な観光街区に相応しい魅力的な景観の形成を図ることとし、街なみ環境整備を推進していきます。また、観光街区内の機能については、地域の特産品等の魅力商品の土産物店等の強化を図り、観光街区としての魅力の向上を図ります。

府中地区については、天橋立に加えて、丹後一の宮の門前町としても位置づけられることから、それにふさわしい観光街区の形成を図ります。

② 丹後の歴史ロマンを積極的に活用した観光開発

有名な古社寺等の歴史遺産に加えて、新たな視点から歴史文化資源の見直しを行い、観光・交流ポイントとして位置づけます。

(2) 主要な課題

① 文珠・府中地区の観光街区の魅力的な街なみ環境の整備

文珠地区、府中地区ともに、美しい街なみ景観や魅力的な機能で新たな訪問客を獲得していくため、「天橋立」にふさわしい魅力的な観光街区の形成を図る必要があります。

② 丹後地域の古代歴史ロマンの活用

天橋立観光に加えて、「歴史ロマンあふれる丹後」を売り物にした観光・交流拠点の形成を図る必要があります。また、丹後歴史文化博物館（仮称）の整備に合わせ、歴史文化ポイントの保全と修復整備を推進することも必要と考えます。

府中地区については、丹後一の宮の門前町として、それにふさわしい街区の修復的整備を図っていく必要があります。

③ 歩いて楽しめる道づくり

天橋立観光の中心的な観光街区に相応しい魅力的な景観の形成、防災性能の向上、歩行空間の安全性の確保を目指し、無電柱化を推進する必要があります。

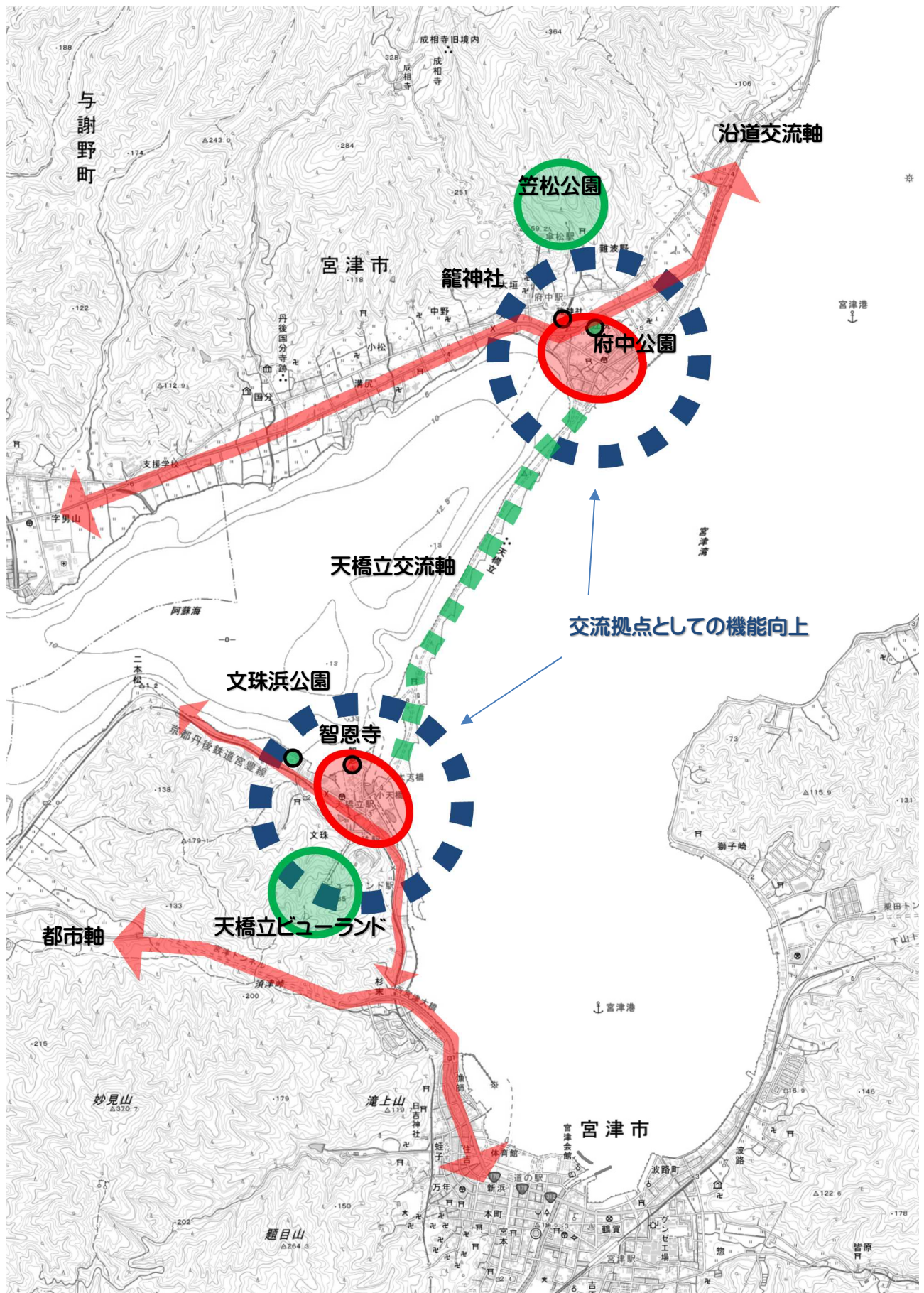
また、文珠地区を東西へ走る府道宮津養父線は、歩道等の設置を検討する必要があります。

(3) まちづくりの方向性

“天橋立観光の魅力を高める魅力的な環境づくり”

交流拠点としての機能向上	・ 多くの観光客が訪れる本地域については、門前町としての環境整備や水路環境整備などを進め、天橋立観光に新たな魅力を付加する市街地整備を進めます。 ・ また、市街地にも観光客を誘導していくため、歩道のバリアフリー化など歩行者・自転車交通に配慮し安全で快適な歩行者空間の整備を図ります。
周辺景観の保全・修景	・ 天橋立の背景となる周囲の山々のほか、海岸線、さらには周辺の建物等についても、天橋立周辺からの視線に配慮した景観の保全と修景を進めます。
魅力的な観光拠点の形成	・ 本地区は、天橋立観光の拠点として、多くの観光産業が立地しているが、さらに、新たな観光産業を誘発する仕掛けづくりを進めます。

(4) 天橋立周辺地域構想図



第4節 IC 周辺地域

(1) まちづくりの基本的な考え方

① 京阪神との玄関口としての機能強化

IC 周辺地域は、京阪神との玄関口としての役割が期待されるとともに、機能強化が求められます。

② 広域連携拠点としての土地利用

京阪神との玄関口である立地を活用するためにも、優良農地との調整を行ったうえで、商業用途、工業用途の土地利用を目指す。

(2) 主要な課題

① 京阪神との玄関口としての活用

IC 周辺という立地条件を生かし、都市機能の形成を図る必要があります。

② 広域連携拠点としての都市機能強化

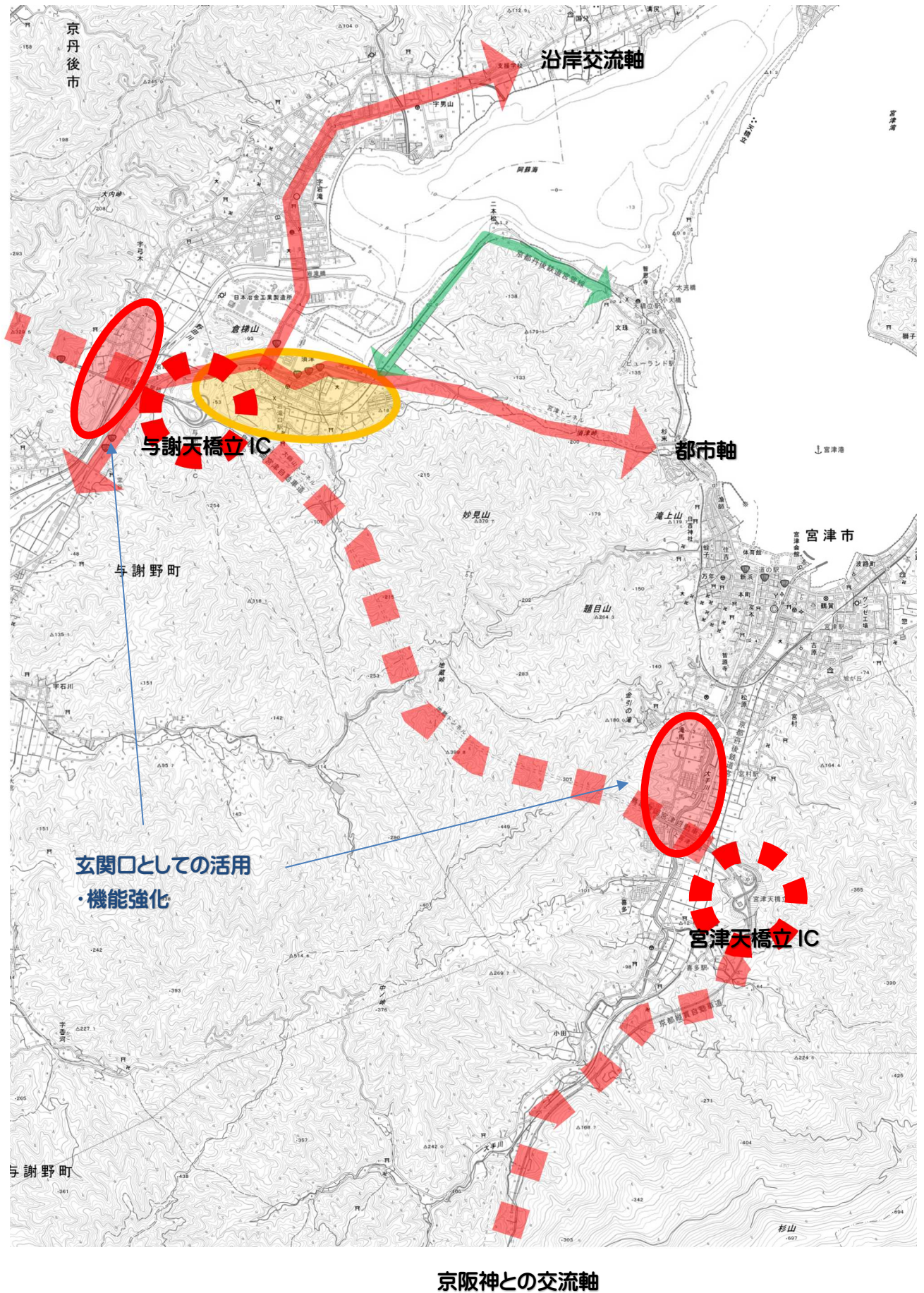
市街地地域を補完する地区として、都市機能の強化を図る必要があります。

(3) まちづくりの方向性

“市と京阪神を結ぶ広域連携拠点の形成”

玄関口としての機能強化	・ IC 周辺としての立地特性を活かして観光情報サービスや業務系機能等の強化を促進します。 ・ 天橋立へ導く国道、主要地方道沿道の景観形成を図ります。
与謝野町と連携した拠点的功能の向上	・ 与謝野町と一体となった機能の拡充を図ります。

(4) IC 周辺地域構想図



第5節 北部地域

(1) まちづくりの基本的な考え方

① 多自然居住・交流エリアとしての展開

北部地域では、今後とも豊かな環境を保全するとともに、その環境と調和する多自然居住・交流型地域としての展開を図ります。

② 地域活動と連動したまちづくり施策の展開

北部地域で展開されている、住民主体の観光交流活動を中心に、それに合わせた各種基盤の整備など、一体的なまちづくりを進めます。

(2) 主要な課題

① 田園的・山村的环境の保全と多自然居住地域の形成

自然環境に支えられた各種のまちづくりの展開を一層高めていくため、農山村地域の保全振興施策を展開していく必要があります。

地域の豊かな山村・田園的環境を活かし、多自然居住地域として位置し、それに相応しい地域形成を図っていく必要があります。

② 豊かな地域資源の活用

自然豊かな環境を活用し、農泊・漁泊や体験農業・体験漁業を推進していく必要があります。

③ 沿岸部と中山間地に広がる各拠点のネットワーク化

沿岸部の国道から中山間地に向けて各種拠点が立地しており、これらを有機的にネットワークしていく必要があります。

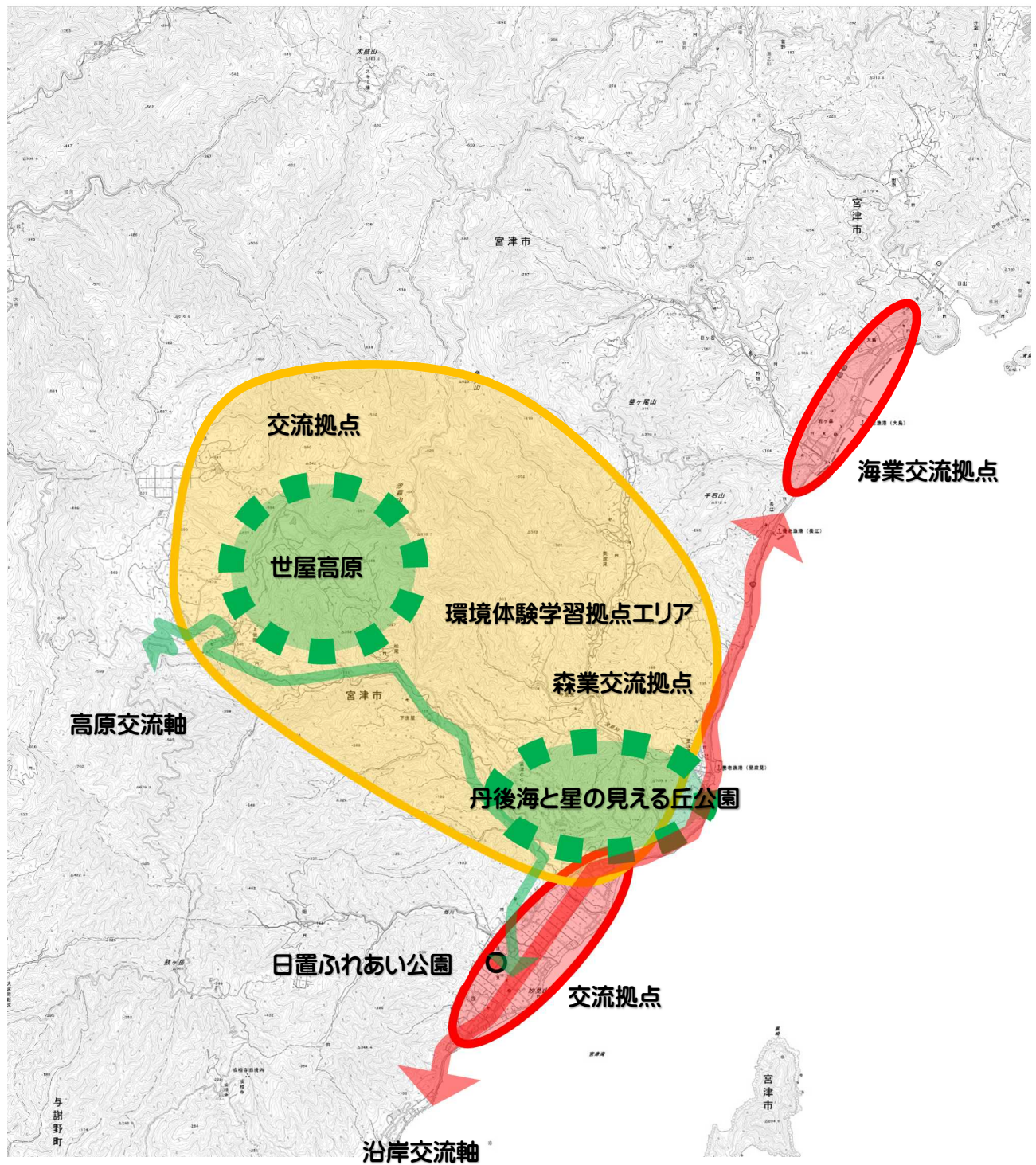
そのため、地域全体のイメージ形成を図る一方、誘導サイン設定など、観光客の誘導策を展開する必要があります。

(3) まちづくりの方向性

“海業と森業を創造する環境づくり”

海業交流拠点の形成	・ これまで漁業を中心として形成されてきた養老地区、沿岸部のある日置地区については、観光と連携した漁業の展開による海業を促進する機能の創出を進めます。
森業交流拠点の形成	・ 世屋、日ヶ谷地区については、山の幸など地域資源を活かして、観光と連携した展開を推進します。
沿岸交流軸と高原交流軸の形成	・ 沿岸に展開する海業交流拠点と山間部に展開する森業交流拠点を有機的に連携する交流軸の機能強化を図ります。

(4) 北部地域構想図



第6節 東部地域

(1) まちづくりの基本的な考え方

① 農業と漁業、海浜レクリエーションの複合地区としての展開

若狭湾に面しており、今後とも農業と漁業及び海浜レクリエーションとの複合経営地区として展開します。

また、北近畿ではめずらしいミカンやオリーブの栽培、地酒の開発など、地域特産品の開発とそのPRを進めます。

② 由良川流域圏における交流活動の展開

有名な古社寺等の歴史遺産に加えて、新たな視点から歴史文化資源の見直しを行い、観光・交流ポイントとして位置づけます。

(2) 主要な課題

① 美しい環境の保全

若狭湾に面する美しい海岸線、海岸線近くに展開する集落、その周辺の田園と山林とが織りなす良好な環境の保全を図る必要があります。

特に、交流資源となる海の保全のために、環境保全策を積極的に推進する必要があります。

② 田園に展開する海浜レクリエーションエリアとしての発展

田園的環境の中に展開する魅力的な海浜レクリエーションエリアとして、今後とも複合的な経営地域として安定化を図る必要があります。

特に、海洋レクリエーションエリアとしてのイベントの開催など、地域イメージ向上の取組みを展開する必要があります。

③ 高速交通網体系に連動した誘導策の展開

京都縦貫自動車道（綾部宮津道路）の開通に伴い、これまでの国道を中心とした広域道路体系が変化しようとしており、京都縦貫自動車道、舞鶴若狭自動車道からの誘導サインの設置など、当地域への観光客誘導策を整備する必要があります。

④ 由良川流域圏交流の促進

由良川流域で進められている流域圏交流活動など、地域が主体となって積極的に関わり、地域発展に結びつける必要があります。

⑤ 安全で美しい集落環境の形成

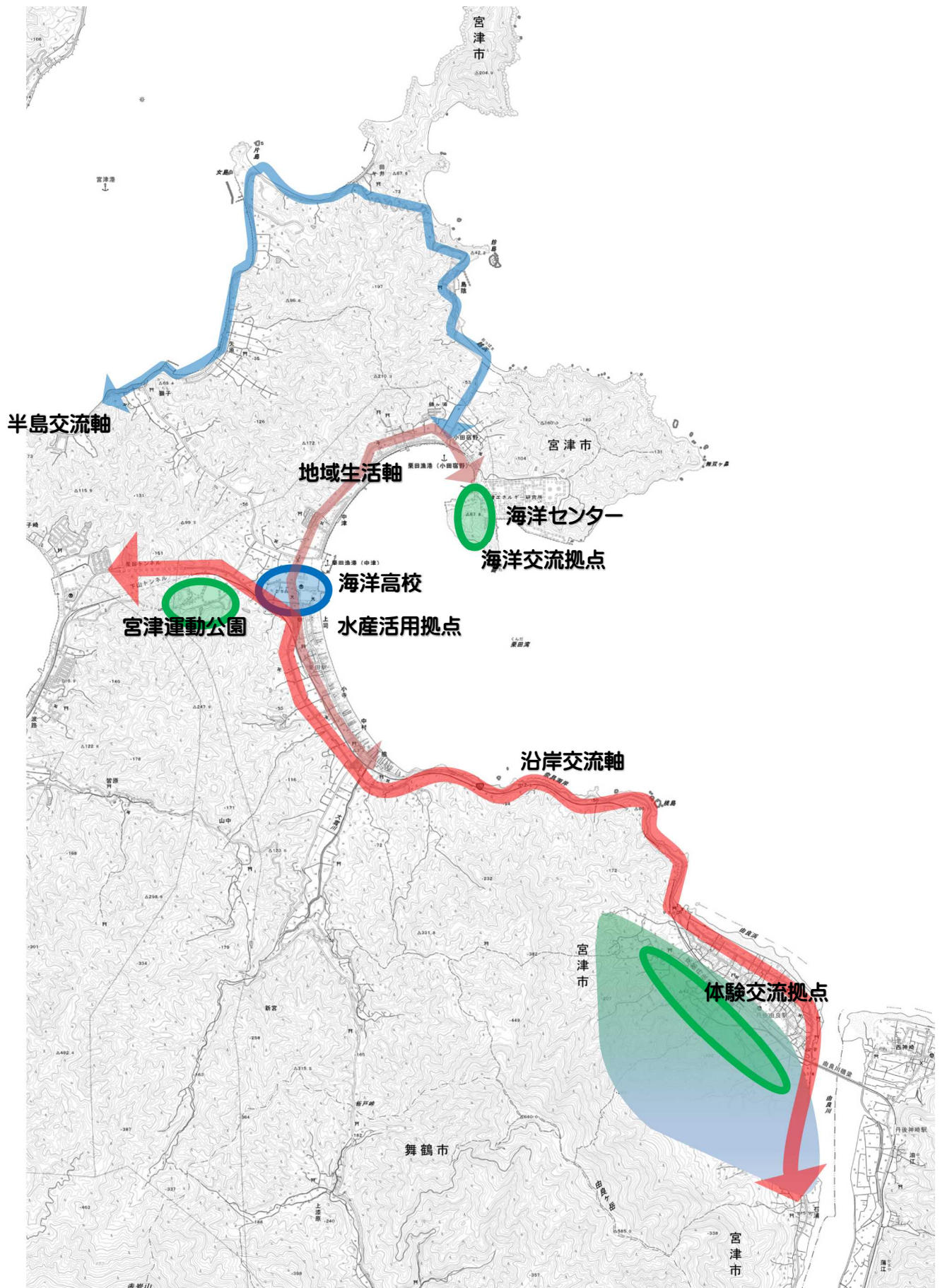
東部地域の市街地は、海岸線に沿って形成され、周辺の環境と調和した地域性の高い景観を形成していますが、一方で、古くからの基盤のため、防災や緊急時対応などの面での課題を抱えています。そのため、これまで培ってきた市街地環境や景観を守りつつ、狭隘道路の解消などを進めていく必要があります

(3) まちづくりの方向性

“海の魅力を引き出す環境づくり”

交流拠点としての集落環境整備	・ 京都丹後鉄道由良駅から海に向かう通りについては、桜並木を活かした街路景観形成を図ります。また、海岸に近く多くの民宿が立地する国道 178 号については、快適な歩道の確保を行うとともに、海水浴客が楽しむことのできる歩道環境整備を進めます。 ・ 海岸と森林が迫る中に集落が形成される特性を活かし、海のレクリエーションと山のレクリエーションを楽しむことができる環境整備を進めます。
地域資源を活かした水産活用拠点の形成	・ 京都府立海洋高等学校、海洋センター等が有する水産業にかかわる機能を活かし、水産品の新たな商品の開発などを行う拠点の形成を進めます。 ・ 宮津エネルギー研究所の再稼働、再開発による地域振興を推進します。
周囲の環境と調和する市街地環境の形成	・ 古くからの市街地景観を保全しつつ、防災面や緊急時対応に配慮した防災広場の確保やセットバックなどによる道路幅員の確保などの環境整備を進めます。

(4) 東部地域構想図



第7節 沿岸地域

(1) まちづくりの基本的な考え方

① 海が近いという魅力の活用

本市の魅力である海と、都市機能が集まる市街地が近接しているというメリットを活かし、海の魅力と都市機能との融合を目指します。

② 民間事業者等と連携した取組

海を活かした取組は、民間も含めた関係者との連携・協力が不可欠であり、共創の精神で取り組みます。

(2) 主要な課題

① 美しい環境の保全

海に面する美しい海岸線、海岸線近くに展開する集落、その周辺の田園と山林とが織りなす良好な環境の保全を図る必要があります。

特に、交流資源となる海の保全のために、環境保全策を積極的に推進する必要があります。

② 活用策の検討

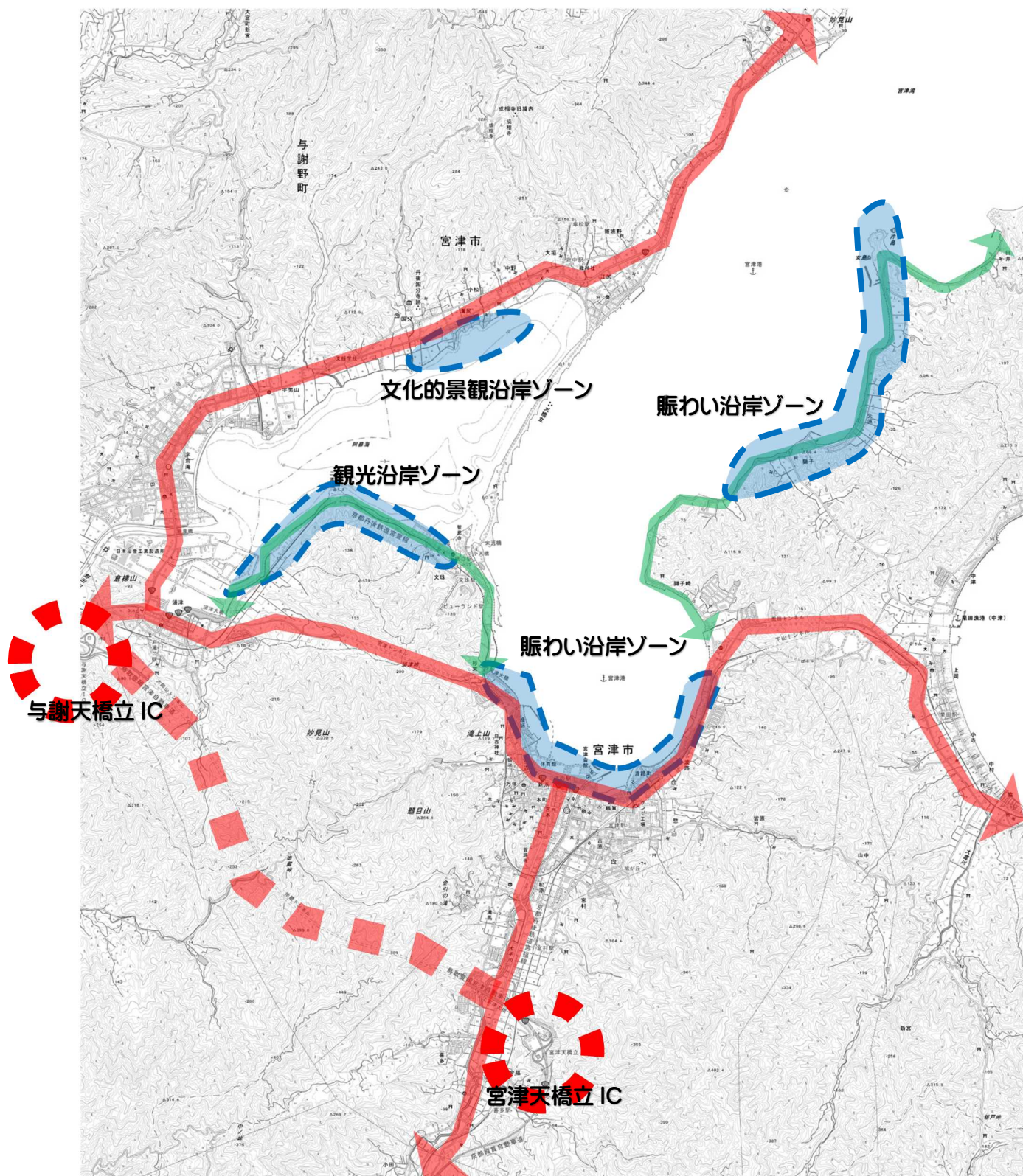
海の魅力、海に関する資源は点在しており、観光まちづくりや産業創出等に十分に活用しきれいていません。有効に活用していくため、民間も含めた関係者との連携・協力を推進していきます。

(3) まちづくりの方向性

“海の魅力を引き出す共創のまちづくり”

民間事業者等との連携	島崎エリアの公共施設・遊休施設等について、民間資本等の導入による一体的な活用・活性化を推進します。
海と調和する市街地環境・自然環境の形成	本市の魅力である海と近接するため、その魅力と調和した環境整備を推進します。 特に、天橋立へと続く沿岸部分は、街なみだけでなく自然環境についても配慮します。

(4) 沿岸地域構想図



第 8 章

これからのまちづくりの展開

第1節 役割	1
第2節 都市計画マスタープランの活用と今後の展開	2

第8章 これからのまちづくりの展開

全体構想、地域別構想に示した都市計画の方針を踏まえ、魅力的な都市づくりを実現するため、市民の皆さんや地域の各種団体、企業、宮津市に関心がりかかわりを持つ人など、様々な立場で宮津市にかかわる人たち（みんな）と一緒に話し合い、知恵を絞り、ともに力を合わせて創りあげること、共創により進めることとします。

第1節 役割

（1）市民及び事業者を中心に様々な立場に関わる人たちの役割

- 自らがまちづくりの主役であるという意識の醸成
- 身近なまちづくりへの参加
- まちづくり協議会やまちづくりNPOの設立、参加
- まちづくりに対する提案
- まちづくりのルールづくりと実行
- まちづくり事業への理解と協力

（2）行政の役割

- まちづくりに関する情報提供や啓発活動
- 参加しやすい場づくり
- まちづくり活動の支援
- まちづくりのルールづくり
- 都市計画の策定と活用
- 都市施設の適切な管理

第2節 都市計画マスタープランの活用と今後の展開

1. 都市計画マスタープランの活用

- 本マスタープランは、都市計画を定める際の指針となるものです。今後は、本マスタープランに基づき都市計画を定め、「（調整中）」の実現を目指します。
- 本マスタープランに基づき、共創の精神で、より良いまちづくりを進めていきます

2. 今後の展開

- 宮津市にかかわる人たち（みんな）が一緒になって創り上げる「一人ひとりが主人公として活躍する持続可能な豊かなまち」を目指し、快適な住居環境と豊かな文化にあふれる個性的なまちづくりが実現します。

